

千歳市教育委員会だより

からふる



平成25年8月 夏号
発行：千歳市教育委員会

「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

グローバルスクール活動事業で特色ある教育を推進!

千歳市は、市内小中学校が地域に密着した特色ある教育活動を推進することを目的に、独自の取組として、平成9年度からグローバルスクール活動事業を実施しています。



Think Globally; Act Locally



グローバルスクール活動事業は、「グローバルな視点で考え、ローカルに行動する」という理念のもと、各学校が地域の自然や人材などを活用し、児童生徒が自主的な創意工夫により実践している全校的な教育活動や家庭および地域と連携したソフト事業を実施するため、教育委員会が各学校に補助金を交付するものです。

平成24年度では、市内の全小中学校に総額650万円の補助金を交付し、各学校においてユニークな事業が行われています。主な事業例は次のとおりです。

平成24年度 小学校の主な事業

【千歳小】サンドレイク小との交流 【北進小】手話を学ぼう 【北栄小】北栄っ子農園 【末広小】アイヌ文化学習 【緑小】発見みんなの千歳川 【第二小】世界を見つめよう 【駒里小】駒里の土で創ろう 【支笏湖小】奈路小との交流 【日の出小】日の出っ子広場 【信濃小】ジャンボタイム異学年交流 【高台小】花いっぱい運動 【東小】地域の農業を考えよう 【祝梅小】サケを育てよう 【桜木小】桜木小ギャラリー 【向陽台小】豆腐大作戦 【北陽小】まちでさがそう 【泉沢小】育てようみんなだ
※ほかにも多くの事業を行っています

- **交流事業** 国際交流、国際理解、学校間交流など
- **体験事業** 自然体験、農業体験、福祉体験など
- **地域密着事業** まち探検、地域の発見、郷土学習など

このようなグローバルスクール活動や総合学習での特色ある教育活動は、毎年開催しています「サイエンス会議」において、各学校の子どもたちから発表を行っています。

「サイエンス会議」はどなたでも見学できますので、ぜひご覧ください。今年度は、平成26年2月22日(土)、千歳科学技術大学を会場として開催します。



向陽台小学校「豆腐大作戦」



駒里中学校「千歳っ子水質調査」

平成24年度 中学校の主な事業

【千歳中】発見ボクのまち千歳の姿 【北進中】演劇を楽しもう 【青葉中】発展途上国の問題を考える 【東千歳中】私たちの国際協力 【駒里中】千歳湖の調査 【富丘中】地域で学ぶ職業体験学習 【北斗中】北斗ふれあいサークル 【向陽台中】向中フェスティバル 【勇舞中】花壇・花づくり ※ほかにも多くの事業を行っています

今年度も各学校において、さまざまなグローバルスクール活動事業が行われていますので、子どもたちの独創的な活動に注目していただきたいと思います。

来年度以降は、事業内容の見直しを行い、さらに千歳市の特徴を生かした活動が広まるよう、特色ある教育活動を進めていきます。

千歳市ホームページに「からふる」のバックナンバーを掲載しています。
URL : <http://www.city.chitose.hokkaido.jp/>

千歳市 からふる

検索



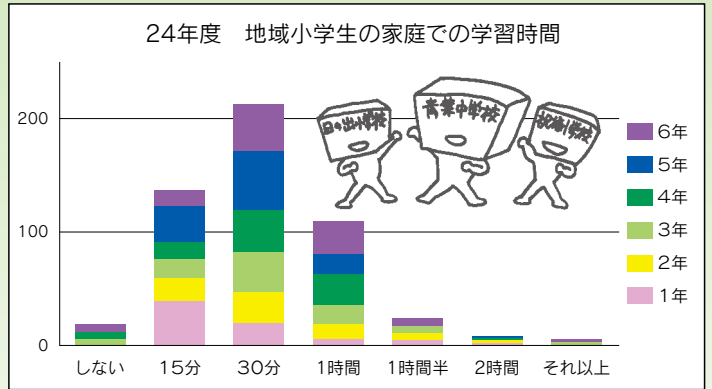
小中学校連携の取組～青葉中学校区



青葉中学校区3校（青葉中学校・日の出小学校・祝梅小学校）では、昨年、小中連絡協議会を立ち上げ、「青葉中学校区の学力の向上」と「健全な成長」の2点を目標とし、小中教員による授業交流や生徒指導上の情報交換、3校合同イベント「クリーン登校（登校時の清掃活動）」の実施など様々な取組を進めています。

目標の一つである「学力の向上」については、これまでも3校で連携を取りながらそれぞれの学校で進めていましたが、今年4月には、各校が独自に作成していた家庭学習の手引書を3校で一本化して各家庭に配布しました。

地域一丸となって学習習慣を身につける取組は、現在、他の中学校区でも同様の広がりを見せています。



(クリーン登校の様子)

めざしたい 家庭での学習時間の目安

小学校 1・2年生 15～30分	小学校 3・4年生 30～45分	小学校 5・6年生 50～60分
中学校 1・2年生 90～120分	中学校 3年生 120～180分	



大学生ボランティアによる「小中学校の学習サポート事業」



夏休み中に大学生ボランティアによる学習サポート事業を実施しました。

この事業は、小中学校における長期休業中等の学習習慣の形成のための取組に、大学生ボランティアを派遣し、教員が作成した指導計画をふまえた児童生徒への指導の補助を行うものであり、千歳市教育委員会がより多くの学校で実施できるように市独自の事業として、千歳科学技術大学の学生ボランティアの協力を得て実施しているものです。

今回は、希望があった市内小中学校13校に対し、千歳科学技術大学の学生51名が参加し、教員が行う夏季授業を支援しました。

参加した児童生徒からは、

- 『大学生のお兄さんがやさしくいろんなことを教えてくれた。』
- 『字がきれいに書けるようにわかりやすく教えてくれた。』
- 『わかりやすく繰り返していねいに説明してくれた。』

などの感想が寄せられました。



【夏休みの学習サポート事業に参加した学校】

- 千歳市教育委員会実施（千歳科学技術大学）
 - ・小学校 北栄小、末広小、緑小、千歳第二小、日の出小、信濃小、高台小、桜木小、向陽台小、泉沢小
 - ・中学校 青葉中、北斗中、勇舞中
- 北海道教育委員会実施（道内大学）
 - ・中学校 千歳中

次回実施予定の冬休み期間には、より多くの児童生徒が参加できるように参加校の拡大を図り、今後も長期休業中の補充的な学習サポートを積極的に展開して、確かな学力を育てまいります。

学校の特色ある取組を紹介します!



学力向上に向けた習熟度別少人数学習 & 「お弁当 de 食育」の取組

日の出小学校では、3年生～6年生の算数の授業において、「習熟度別・少人数学習」を取り入れ、個に応じた指導の充実に取り組んでいます。学習コースは、5コース（3年生は4コース）設定されており、学年の児童は、自分でコースを選択し、学習するシステムとなっています。

担任と加配教員の他に担任外の教員も指導に当たっており、文字通りオール日の出の取組となっています。この取組と連動し、校長先生の手作りの算数プリントがすぐに使える体制も整っているなど、児童の学力向上に一定の成果を上げています。

また、給食の休止日を利用し、家庭で保護者と一緒にお弁当を作る「お弁当 de 食育」を5・6年生で実施し、食事の大切さを子どもたちにしっかりと理解してもらう取組を行っています。

授業の様子



お弁当の一例



学校力向上に関する総合実践事業 ～教育課程の充実や人材育成に向けた取組～

桜木小学校では、平成24年度から、学校改善の取組の一環として、北海道教育委員会より「学校力向上に関する総合実践事業」の指定を受け、北海道内外における様々な先行事例等を踏まえ、家庭・地域との連携のもと、学校力の向上に関する取組を行っています。

【平成25年度の取組内容】

- 教育課程等（全国学力・学習状況調査結果の自校分析に基づく指導の改善や学校全体で取り組む学習規律の徹底など）
- 地域・家庭等との連携（生活リズムチェックシートの活用を図った生活習慣の改善など）
- 人材育成（初任者研修における全ての校外研修の自校実施や教職員研修など）
- その他（ICT機器の活用など児童が学習に集中できる授業づくりや教室環境の整備など）

水戸部修治氏の教育講演会の様子



文部科学省から講師をお招きし、「国語科教育の改善」をテーマに、国語の授業をどう進め、どう改善するかについて講演をいただきました。



福祉の授業で「共に生きる」を考える ～福祉体験プログラムを通じた取組～

富丘中学校では、平成23年度から3年間、北海道社会福祉協議会から「ボランティア活動普及事業協力校」の指定を受け、除雪ボランティアやチャリティーコンサート、福祉体験などの様々な活動に取り組んでいます。

このうち、福祉体験では主に3年生を対象として、地域のボランティア・福祉団体から講師を招き、車いす体験や手話体験などの11種類の福祉体験プログラムに沿って一斉授業をしています。生徒たちが、自ら高齢者の疑似体験を行うことや障がい者と共にスポーツを楽しむことなどを通じて、福祉に関する理解を深める取組を行っています。

授業の様子



規則正しい生活習慣を身につけ、家庭学習に取り組もう!

千歳子どもたちが将来自立し、夢や目標を実現していくことは、私たち市民の共通の願いであり、まちの発展や活力に直結するものです。そのためにも、子どもたちが自立して生きていくうえで必要な学力や体力を確実に身につけることが必要です。

家庭は、子どもたちにとって温かい愛情に包まれた心のよりどころであり、望ましい習慣やルールを身につける場でもあります。家族での時間や生活を大切にするとともに、子どもに規則正しい生活習慣を身につけさせ、家庭学習や体力向上に取り組ましましょう。

とぴっくす

千歳市学力向上検討委員会の取組

市内小中学校の教員15名で構成する「千歳市学力向上検討委員会」では、子どもたちが「確かな学力」を身につけるため、学校における指導法の工夫・改善に向けた支援を行っています。具体的には「全国学力・学習状況調査」の分析による授業改善案の作成や小中連携に関わる家庭学習手引きについての学校との協議などを行っています。

今年度からは、全校統一で実施した「標準学力検査・知能検査」の結果分析を行うとともに、コーディネーション運動に関する専門部会を設置し、子どもたちの体力・運動能力向上の研究も進めています。

今後は、各種調査結果の分析と対策を行うなど、学校・家庭・教育委員会の役割を明確にして、児童生徒の学力向上に向けて取り組んでいきます。

※コーディネーション運動とは、身体と脳・神経系統のバランスの良い発育を促し、運動能力の習得効果を高めるためのトレーニング方法です。



全教職員(約520名)が普通救命講習を受講!

札幌市のプラムの種をのどに詰ませ児童が死亡する事故を受け千歳市教育委員会では、児童生徒の万一の事故に備え、消防署の協力により、救命処置の技能・知識を習得するため、夏季休業中に市内小中学校の全教職員を対象として「普通救命講習」を実施しました。

教職員は、「心肺蘇生法(AED使用法他)」や「止血法」、「誤飲対応」などの実技に真剣に取り組み、「いざという時に役立つ」、「講習を受けたことで落ち着いて対応ができる」などの感想がありました。



市内小中学校で人権教室を開催しています

市内小中学校全校で人権擁護委員が中心となり、人権教室を開催しています。この人権教室を通して、子ども達は命や思いやりの大切さ、差別やいじめのない社会の大切さを学んでいます。

また、情操豊かに思いやりの心を体得させることを目的とする「人権の花」運動に参加し、みんなで協力して花を育てることを通じて、「協力し、感謝することの大切さ」を学んでいます。



eカレッジの学校登録が増えました

eカレッジに学校として登録する「ICT活用推進協力校」に、日の出小学校が新たに加わり、eカレッジへの登録も昨年度から380名増加しました。

協力校以外の学校の児童生徒も、学校を通じてeカレッジへの登録を申し込むことができますので、家庭学習の教材として利用してみてください。

【ICT活用推進協力校】

・千歳小、信濃小、高台小、日の出小、富丘中、勇舞中

※eカレッジ…基礎学力向上のためのパソコンを利用した学習支援事業のことで



不審者情報の提供をお願いします

東京都練馬区や茨城県竜ヶ崎市などにおいて、児童に対する暴行事件が発生しました。

千歳市教育委員会では、学校や千歳っ子見守り隊に注意喚起を行うとともに、通学路を中心とした巡回パトロールを強化するなど、子どもたちの安全確保に取り組んでいます。

また、町内会など地域の皆さんに不審者情報の提供をお願いします。

【不審者、犯罪行為、挙動が怪しい者を目撃したとき】

- ・速やかに110番(警察署)へ連絡
- ・教育委員会青少年課にも情報提供をお願いします。TEL24-0862



新コーナー

学校を支える人たち



業務技師

学校を運営していくためには、教員のほか、学校を支えている人たちがたくさんいます。そんな縁の下の力持ちとなっている方々のお仕事を紹介します。

【業務技師の主な仕事】

- ・校舎内外の清掃、小規模な営繕、除雪、空調ボイラーの運転など学校施設の管理全般
- ・文書の印刷、学校諸行事の準備作業など



「子どもたちが安心・安全にいつも笑顔で生活できる環境づくりに励んでいます。」

編集・発行 千歳市教育委員会(教育委員会庁舎2階 教育部 企画総務課)

■住所: 〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地 ■電話: 24-0819(直通) ■FAX: 27-3743

■e-mail: kyoikukaku@city.chitose.hokkaido.jp ■URL: http://www.city.chitose.hokkaido.jp/